

図書館での調べ物 レファレンス・サービス

—今回のテーマ・行く年来る年—

甲賀市図書館 だより

5W3H その19

このコーナーでは
図書館と本について
紹介していきます。

水口さん(以下・水口)今年も残り少なくなってきました。一年は本当に早いです。年末から年始にかけて色々行事があるので、子どもと一緒に日本の行事を学びたいと思っています。分かりやすい本はありますか。

図書館職員(以下・図書)こんにちは。こちらの本はどうでしょうか。「イラスト版 子どもの伝統行事」(合同出版・発行)大晦日の行事として除夜の鐘や年越しそば、新年の行事として鏡餅や書初めなどについて紹介されています。

水口 おせち料理についても載っていますね。「黒豆」の黒色は魔よけの色で「まめ」に暮らせるように、「ごまめ」は豊作祈願で、肥料にしたところ米が五万俵もとれたことから「五万米(ごまめ)」というのですか。昔、親に聞いたことがある気がしますが、すっかり忘れていました。この本で勉強し直しますよ。

図書 鏡餅や門松などの縁起物

を紹介している本もありますよ。「京の宝づくし 縁起物」(光村推古書院・発行)

水口 門松も最近では見ることが少なくなりました。京都には「根引松(ねびきのまつ)」という少し変わった門松がありますね。竹を添えず根をつけたままの若松を和紙で巻き込み、金赤の水引で真結びし玄関の柱などにつけるのですか。京都の西陣や祇園などでは今も残っているのですね。

図書 京都のお話が出たところで、京都の七福神めぐりなどはどうですか。「七福神めぐり」(三心堂・発行)この本には日本各地の七福神めぐりのコースが紹介されています。

水口 七福神ですか。名前と役割、それぞれが持っている祝物についての解説もありますね。新年のことを考えていると何だかわくわくして、待ち遠しくなってきました。

図書 良い年が来るといいですよ。来年も甲賀市の図書館をよろしくおねがいいたします。

他にもこんな本が!

「忘れないで
季節のしきたり日本の心」
(小学館・発行)

「妖怪と絵馬と七福神」
(青春出版社・発行)

問い合わせ

水口図書館	☎ 63-7400 FAX 63-4737
土山図書館	☎ 66-1056 FAX 66-1067
甲賀図書情報館	☎ 88-7246 FAX 88-7005
甲南図書交流館	☎ 86-1504 FAX 86-1505
信楽図書館	☎ 82-0320 FAX 82-3921

みんなの窓

「○○○○」の会話で何気なく使っている「○○○○」という言葉は、とても便利ですが、実はあいまいです。

たとえば『子どもらしい』とは、具体的にどう感じるを表すのか、何人かで挙げてみると、全員の意見が完全には一致しないはずです。その違いに気づかず「子どもらしくな」とか「子どもくせ」となどという言葉で、だれかの心を傷つけているかもしれません。

『○○○○』という言葉を使うとき、それはその人の偏見や、社会が作りあげたイメージで使う場合も多くあります。典型的なものが『女らしさ』『男らしさ』ではないでしょうか。

今でも「もつと女の予らしくしなさ」「男なんだから泣くな」というように子どもを叱るテレビ等を見かけます。でも本当に注意したかったことは「もつとお行儀よくしなさ」「泣き止みなさ」という意味合いであったはずですよ。性別は関係ありません。

『○○○○』は、知らず知らずのうち、べつという仕種をしていれば

「○○○○」って

なんだろう?

叱られないかを学習し、周囲から期待されているイメージを刷り込まれてきたといえます。そのうえ、イメージの枠から外れた人を爪弾きにする凶暴さを持っています。時として、男性の平均よりも身長の高い女性に、劣等感を抱かせてしまうような...

これは、なんてきゅうくつなことでしょう。

でも周りからの期待や押しつけに振り回されないうらさ『もたらしらさ』です。まさに、あなただけの『うらさ』であるとともに、とても大切なあなたの個性です。

自分の【わたしらしさ】と他人の【あなたらしさ】を認め合ひ、個性を尊重し合えるように、枠にはまったきゅうくつな『○○○○』を見直してみましょ。

問い合わせ

人権政策課

☎ 65-0695
FAX 63-4582

人権教育課

☎ 86-8024
FAX 86-8380